

◆日本教材学会第 29 回研究発表大会（千葉大会・聖徳大学）ご案内（9/12版）

第 29 回研究発表大会での概要が決まりましたので、下記の通り案内させていただきます。

◆日 時 : 平成 29 年 10 月 21 日(土)・22 日(日)

◆会 場 : 聖徳大学 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550 TEL047-365-1111(代)

なお、各発表の内容（概要 2 頁）は、9 月中旬に学会のホームページに掲載予定です。

10月21日(土) 受付:9時45～ (会場:聖徳大学)

9:45 10:15 12:20 12:55 13:05 13:50 14:00 16:00 16:10 18:10 18:25 20:25

受 付	・研究発表① (各発表25分) [発表20分、 質疑5分] 〈5会場〉 ・ポスター発表 〈1会場〉	昼食 休憩 ・ 移動	移 動	総 会	移 動	・研究プロジ ェクト (8研究プロ ジェクト) (120分)	移 動	シンポジウム 「物語教材に おける言語と 思考—保幼小 連携を踏まえ た教材の考え 方—」(120分)	移 動	情 報 交 換 会
		理 事 会								

10月22日(日) 受付:9時45分～ (会場:聖徳大学)

9:45 10:15 12:20

受 付	・研究発表② (各発表25分) [発表20分、 質疑5分] 〈5会場〉
--------	---

【研究発表①】21日 10:15～12:20

〈第1会場〉算数・数学科(3202教室 3号館2階) (20分発表、5分質疑)

10:15～10:40〈第1会場①〉村田 翔吾

中学校数学科における円外接線の作図の位置に関する一考察 —作図に関する命題の系列に着目して—

10:40～11:05〈第1会場②〉砂田 大樹

『数学 第二類』における地図投影法に関する教材の特徴と価値 —空間の想像力との関連に焦点を当てて—

11:05～11:30〈第1会場③〉松本紘一朗

学校数学における「かくこと」を促進する教材に関する一考察 —「式による説明」を事例として—

11:30～11:55〈第1会場④〉栗原 和弘

学校数学における代数的構造の学習指導のための教材に関する一考察

〈第2会場〉算数・数学科 (3203 教室 3号館2階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第2会場①〉 満島 夏実

テストにおいて主体的・対話的で深い学びを実現するための研究—算数のテストを用いて—

10:40~11:05〈第2会場②〉 中原 朝陽

学校数学における不確実性下での意思決定力の育成に関する研究

11:05~11:30〈第2会場③〉 花園 隼人

数学対象の感得を促す教材の発展の方向性に関する一考察

11:30~11:55〈第2会場④〉 坂井 希美子

乗法九九習得のための教材に関する研究—教科書で用いられているアレイ図の比較を通して—

〈第3会場〉生活科、総合的な学習 (3301 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第3会場①〉 小野沢美明子

関係概念としての「教材開発」の再解釈—総合学習の実践に着目して—

10:40~11:05〈第3会場②〉 望月 惇平 (4名の共同研究)

子供が主体的に課題を解決するための学習過程の考察—学校環境に関わる教科横断的な学習を通して—

11:05~11:30〈第3会場③〉 細矢 智寛

自己調整学習における教授方法—CORI (Concept Oriented Reading Instruction) の教材分析を中心に—

11:30~11:55〈第3会場④〉 中村 俊哉

生活科における「生命」にかかわる実証的研究(1)—種子についての生命認識を中心として—

11:55~12:20〈第3会場⑤〉 澁谷 あゆみ

違いを認め、排除しない集団づくり—多面的な見方を育てる教育活動の開発—

〈第4会場〉社会科、生活科、特別活動、幼児教育 (3302 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第4会場①〉 藤井 太亮

絵画資料を通した歴史像の形成—中学生への調査をもとに—

10:40~11:05〈第4会場②〉 金子 実 (2名の共同研究)

学校内歴史資料室の整備と活用(2)—時代を感じながら学ぶことができる資料室をめざして—

11:05~11:30〈第4会場③〉 佐島 群巳 (7名の共同研究)

ビオトープの教育資源活用に関する研究(6)—子どもの学びの実感を高める活動デザイナー—

11:30~11:55〈第4会場④〉 根本 徹 (7名の共同研究)

園外保育における環境体験(6)—周辺環境を活かした園外保育の実際と課題—

11:55~12:20〈第4会場⑤〉 宮川 秀俊 (2名の共同研究)

多文化共生のための教材の理念と実践に関する研究—保育・幼児教育の日本語教材について—

〈第5会場〉技術科、教育方法等 (3303 教室 3号館3階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40〈第5会場①〉 渡津 光司 (4名の共同研究)

中学校技術・家庭科技術分野におけるDL材を使った設計学習について

10:40~11:05〈第5会場②〉 皆川 順 (2名の共同研究)

プレゼンテーションは学習者の内容記憶に効果的か—パーソナルコンピューターおよび実物投影機を用いて—

11:05~11:30〈第5会場③〉 坂 敬介

多忙化する学校の中でも心を動かす授業づくりの事例(道徳科編)—今こそ動画(テレビ放送)を使った授業を—

11:30~11:55〈第5会場④〉 田中 浩之

学生援農隊による農業振興—地域活性化のお手伝い—

11:55~12:20〈第5会場⑤〉 市川 洋子

対話による評価ツールとしての「学習履歴図」

【ポスター発表】 21日 10:15~12:20 〈メディアラウンジ 1号館4階〉

- ①. 林 韓燮 (2名の共同研究) 創作絵本をデータ化したデジタル絵本の実践および活用方法について
- ②. 江田 理一郎 購入した絵本に対する感想について -インターネット通販のレビューコメントを利用して-
- ③. 小原 貴恵子 (4名の共同研究)
フィールドワークを通じた学生の学び-保育者を目指す学生のコンピテンシーに焦点をあてて-
- ④. 後藤 由美 保育者における食育の意識調査研究
- ⑤. 新谷 しづ恵 中学生における遺伝の学習に及ぼす先行オーガナイザーの効果
- ⑥. 徳田 克己 (3名の共同研究) 幼児雑誌の内容分析-女兒向けの雑誌を中心に-
- ⑦. 西館 有紗 (3名の共同研究)
障害理解授業の実践において用いられてきた教育方法の課題-障害シミュレーション体験に着目して-
- ⑧. 西村 実穂 (3名の共同研究) 医療的配慮が必要な子どもの保育を行うための保育者用教材の開発1
-水頭症の子どもの保育について-
- ⑨. 八田 友和 『実物資料データベース』を活用した歴史教材の活用-原始・古代史学習における物質資料を中心に-
- ⑩. 伴 浩美 英文の子育て相談Q&Aの計量的文体解析
- ⑪. 伴 浩美 工学系大学院におけるTOEIC対策集中講座に関する一考察
- ⑫. 藤重 育子 保育者による児童文化財の捉え方に関する研究
- ⑬. 水野 智美 (2名の共同研究) 今の幼児は童謡・唱歌を歌ってもらっているか

＝昼食休憩＝ 21日 12:20~13:05

【総会】 21日 13:05~13:50 (7201教室 7号館2階)

【研究プロジェクト】 21日 14:00~16:00

- ① 朝倉 徹 (7201 教室 7 号館2 階) 「市販教材を分析し、改善例を提案する -国語科、理科、社会科、数学科の市販教材の分析-
- ② 清水美憲 (3202 教室 3 号館2 階) 「発学校教育における「発見・創造」の再考 -資質・能力論からみた教科固有の「発見・創造」の意味は何か-
- ③ 下田好行 (3203 教室 3 号館2 階) 「主体的・対話的で深い学び、その深さをどのように創るか
-幼児教育から小学校生活科の接続期における主体的・対話的学びの創り方の一考察-
- ④ 谷合 敬 (3301 教室 3 号館3 階) 「図書教材の価値と可能性- 21 世紀にふさわしい 教育と図書教材-
- ⑤ 宮川秀俊 (3302 教室 3 号館3 階) 「持続可能な開発のための教育 (ESD) と教材」
- ⑥ 大橋陽一郎 (3303 教室 3 号館3 階) 「理科学習における、個人教材の有用性と教材開発 -子供一人ひとりが理科に興味を持てるように-
- ⑦ 小池英明・土井敏裕 (3102 教室 3 号館1 階) 「次期学習指導要領へ対応するための小学校プログラミング教育推進のための研究-教育委員会、現場教員、民間企業、それぞれの立場からのアプローチ-

【シンポジウム】 21日16:10~18:10(7201教室 7号館2階)

「物語教材における言語と思考-保幼小連携を踏まえた教材の考え方-

【情報交換会】 21日 18:25~20:25

【研究発表②】 22日 0:15~12:20

〈第6会場〉算数・数学科 (3202 教室 3 号館2 階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第6会場①〉 春日 学

小学校算数科の授業における「トピック教材」の意義と課題
-子どもの問いを軸にした問題解決的な学習過程を目指して-

10:40~11:05 〈第6会場②〉 川上 貴

小学校教師の算数教材に対する捉え方について-「現実の世界」と「数学の世界」を視点として-

11:05~11:30 〈第6会場③〉 渡会 陽平

異種の2量の割合として捉えられる量を表す表現“あたり”の用い方に関する研究

11:30~11:55 〈第6会場④〉 澁谷 久

数学教育における自己を導く道具としてのノート学習具に関する一考察

11:55~12:20 〈第6会場⑤〉 矢田 敦之

算数科「表」の入門期における関数指導に関する一考察-表、式、図の有機的関連に着目して-

〈第7会場〉理科 (3203 教室 3 号館2 階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第7会場①〉 澤柿 教淳

南極観測に関わる映像コンテンツに付加する体験型教材の開発

ー映像コンテンツに付加する体験型教材「ペンギン型2足歩行模型」の活用に向けてー

10:40~11:05 〈第7会場②〉 小林 優子

国際バカロレアの『知の理論』における自然科学と他の知識領域との関係ー「科学の本質」を中心にー

11:05~11:30 〈第7会場③〉 前田 善仁

中学校理科教科書および学習参考書・理科資料集の記述に関する一考察ー生物の系統樹をとおしてー

11:30~11:55 〈第7会場④〉 小松 幸廣

自然エネルギー教材の開発ー風力発電機製作教材ー

11:55~12:20 〈第7会場⑤〉 中川 徹夫

ペットボトルのキャップを用いた水溶液の性質に関するマイクロスケール実験教材の開発

〈第8会場〉保健・体育科、道徳教育 (3301 教室 3 号館3 階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第8会場①〉 鈴木 一成

50m 走の記録向上を目指した「パタパタ君」を用いた小学校体育授業実践

10:40~11:05 〈第8会場②〉 東風 安生

評価との結び付きを考えた道徳ノートの活用について

11:05~11:30 〈第8会場③〉 荻野 貴美子 (3名の共同研究)

看護師による中学生に対する老年期の授業実践

11:30~11:55 〈第8会場④〉 伊藤 裕康

「考え、議論する道徳」における教材の要件

〈第9会場〉外国語、国語、音楽科 (3302 教室 3 号館3 階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第9会場①〉 長谷川淳一

中学校英語教科書における題材の変遷

10:40~11:05 〈第9会場②〉 田中 裕美

プレゼンテーションソフトを用いたアクティブ・ラーニング型授業の実践

11:05~11:30 〈第9会場③〉 山口 隆司

読み聞かせと黙読での感情認知の差異の実証的研究ー街場の小学生高学年を対象にしてー

11:30~11:55 〈第9会場④〉 丹間 康仁

校歌に込める教育的意図の対立と調整の構図ー作詞・作曲をめぐる協議過程の分析ー

〈第10会場〉生活・総合的な学習 (3302 教室 3 号館3 階) (20分発表、5分質疑)

10:15~10:40 〈第10会場①〉 松永 幸子

教材としての「ヒバクシャ」ー総合的な学習の時間の平和教育を中心としてー

10:40~11:05 〈第10会場②〉 土井 進

「さんぽ」を導入教材とした必修科目「地域活動と社会貢献」の成果ー総合的な学習の時間の指導法の活用ー

11:05~11:30 〈第10会場③〉 石橋 昌雄 (6名の共同研究)

「人と人の関わり」に関するカリキュラム開発ー低・中学年の「思考力」を育てる活動の工夫ー

11:30~11:55 〈第10会場④〉 後藤 千恵子 (5名の共同研究)

「人と人の関わり」に関するカリキュラム開発ー高学年の「思考力」を育てる活動の工夫ー